

ふしみサラダボール子育て情報

「一緒に楽しもう」

令和5年11月15日号

板橋富士見幼稚園



子どもの時にしか出会うことのできない不思議な世界

大人は、ずっと昔の幼児期のことをあまり覚えていません。おそらく皆さんも、強く印象に残った事だけが記憶にあるかと思います。幼児期に、空を飛んだり、何かになりきって遊んだり、虚構の世界を飛び交って大人になってきたことを、今はすっかり忘れてしまっています。

実は、幼児期には特殊な才能があります。それは大人に見えないものが見えたり、聞こえない音が聞こえたりする力です。

幼稚園でも、子どもたちに手と手を合わせて水をためられるお皿を作るよう伝え、先生が空のボトルを持つふりをして注ぐことがあります。「いい匂いのするオレンジジュースを順番についでいくから、こぼさないよう気を付けてくださいね。」と伝えると、面白いことにどの子も慎重に口元へ運び、香りをかぎ、まるで本物のように美味しそうに飲むのです。ご家庭でも試しにやってみてください。

また、これからの季節は加湿器の水蒸気が煙に見えて、そこにおもちのフライパンを乗せ、美味しいご馳走づくりが始まるかもしれません。お玉や泡だて器でガチャガチャと混ぜ、美味しそうな音や香りに包まれながら、大人と同じようにして料理を楽しみます。フライパンについて水蒸気が次第に水滴になり、周りが水浸しになったら親御さんは大慌てです。子どもが楽しんでいる姿を見ると「やめさせるべきか、そのまま見守るべきか」悩むところかもしれません。

このように、子ども達は現実の世界の中で虚構の世界・遊びを自ら作り出し、それをたくさん経験して大人になってきています。是非、子どもの時にしかできない自由な世界や遊びを、親御さんも一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。意外と楽しいものですよ。



【写真：年中さんが来年の春に向けてイチゴの苗植えをしました。】